報　告

2020年度
北海道医師硬式テニス大会報告

今年は新型コロナウイルス禍により、各種催しの自粛を余儀なくされている。この大会も一時は開催するか否か主催者として迷ったが、９月より各種大会が制限付きながら開催されるようになったので、10月４日（日）予定通り開催することができた。数日前の天気予報では雨であったが、幸い雨は降らず、寒からず暑からず風も少なく、テニスにとってはいい空模様だった。

参加者は例年より若干少ない10組20名だった。初出場が３名おり、自己紹介の後試合が始まった。Ａブロックは熱戦の結果３組が２勝１敗で並び、得失数でも並んだ２組の対戦で勝利していた松本・南組（岩見沢市）が優勝した。同率ながら準優勝は武市・宮崎組だった。パートナーが怪我のため欠場し、急遽奥さんが代役を務めた深谷組は１位だった。２位は全敗に終わった武田・西田組だった。Ｂブロックは初出場の柴田・山内組が圧倒的な強さで全勝優勝を飾った。２位は１勝１敗同士の八木・花谷組と伊藤（岩見沢市）・國田組が激しく争った。その結果６－５と接戦を制した八木・花谷組が準優勝、伊藤・國田組が１位となった。直前に肉離れの負傷を負った服部（美瑛町）・三浦（小樽市）組は残念ながら全敗で２位だった。家族ミックスのＣブロックは、三品親子組が小谷夫妻組を熱戦の末６－５で下し初勝利・初優勝を飾った。残念ながら小谷夫妻組は準優勝に終わった。

今年は懇親会が見送られたので、試合終了後ただちにコートサイドで表彰式が行われた。ここでは三品先生から「テニスは健康寿命を長くする」との記事が配られ、テニスが健康に寄与していることを改めて自覚した。また八木会長から、昨年の全国医師テニス大会が皆様のお陰で成功裏に終えることできたと、感謝の意が表された。最後に、来年は新型コロナ禍が落ち着き、たくさんの仲間とテニスを楽しみたいとの願いを込めお別れした。

文責：北海道医師テニス協会会長・八木整形外科病院
八木　知徳

令和２年10月４日
北海道医師硬式テニス大会参加者

五十音順

医師名	医療機関名
伊藤　正美	中央医院（岩見沢市）
小谷　晃司	コロンビア内科
小谷　里美	
國田　芳敬	吉田記念病院
柴田　　定	勤医協中央病院
武市　紀人	しのろ耳鼻咽喉科クリニック
武田　　修	たけだ皮膚科スキンケアクリニック
西田竜太郎	栄町レディースクリニック
服部　昌男	美瑛町老人保健施設　ほの香（美瑛町）
花谷　　馨	北海道対がん協会
深谷　　徹	ふかや皮膚科クリニック
深谷ひろみ	
松本　光博	松本皮フ科クリニック（岩見沢市）
三浦　　悟	三浦外科肛門科（小樽市）
三品　壽雄	北海道大野記念病院
三品あおい	
南　　俊郎	松藤医院（岩見沢市）
宮崎　広亀	内科・胃腸内科平岸台クリニック
八木　知徳	八木整形外科病院
山内　直人	勤医協中央病院

試合結果

Ａブロック

		1	2	3	4	勝敗	順位
1	松本 南		⑥－1	⑥－4	3－6	2－1	優勝
2	武市 宮崎	1－6		⑥－2	⑥－1	2－1	準優勝
3	武田 西田	4－6	2－6		2－6	0－3	2位
4	深谷 深谷	⑥－3	1－6	⑥－2		2－1	1位

Ｂブロック

		1	2	3	4	勝敗	順位
1	柴田 山内		⑥－1	⑥－0	⑥－1	3－0	優勝
2	八木 花谷	1－6		⑥－5	⑥－1	2－1	準優勝
3	伊藤 國田	0－6	5－6		⑥－2	1－2	1位
4	三浦 服部	1－6	1－6	2－6		0－3	2位

Ｃブロック

		1	2	勝敗	順位
1	小谷 小谷		5－6	0－1	準優勝
2	三品 三品	⑥－5		1－0	優勝